

別紙 1 (報告様式)

農林漁業現地事例情報「食料自給率向上に資する取組事例」

行動計画の項目に基づいた分類：ウ 地産地消の推進の取組

取組名：異業種との連携による直売所運営

取組主体：ザ・ベジタブルショップ21 (北海道・十勝郡浦幌町)

1 取組の背景

平成9年、橋枝俊英氏を中心に農家3戸で町有地を借り、直売所を開設した。

週末のみの営業であったが、地場産農産物の販売の他、浦幌町のPRや観光案内のパンフレットを直売所を訪れた旅行者に提供したところ大変好評であった。

11年には、PR活動に共感した異業種(漁業者、木工製品製造業者、製麺業者等)の会員を加えた11名により、11年に現在のログハウス風直売所「ザ・ベジタブルショップ21」(同氏代表、現在会員12名)を開設した。

2 取組の具体的内容

たまねぎ・馬鈴薯等、農産物の販売の他、鮭とば等の水産加工品、テーブルセット等木工製品を含めた特産品や、同直売所の会員以外のアイスクリームやおおやき等加工品を扱うことで商品も充実し、夏場の繁忙期には大変な混み合いを見せている。

3 取組の具体的効果

夏場の繁忙期には1日の売上は30万円ほどになる。また、ホームページを開設している会員へのインターネット等による注文も増加している。

19年 直売所売上 約2,000万円(各会員売上と飲食部門合計)

4 今後の展開方向

冬期間は営業を休止しているが、通年営業(冬期間は週末のみ営業)に向けて地場産農産物を使った手作りピザ等新商品を開発中である。

5 取組に係る問題点と解決策

毎月1度、例会を開催(原則全員参加)、経営や販売について意見交換を行い問題等の解決を図っている。

画像



直売所内の様子

農産物の他にアイスクリーム、木工製品、
手作りのかご等が販売されている。



休日の様子

夏場の休日は観光バスやマイカーで駐車場
が満車になる。

【情報収集官署】 北海道農政事務所 池田統計・情報センター

連絡先：015-572-2239